

氏名 (法人にあっては名称)	株式会社 リーガロイヤルホテル広島
住所	広島県広島市中区基町6番78号
計画期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
基準年度(*1)	令和元年度～令和3年度 (平均)

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	☒ (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上 (特定事業者) ☐ (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上 (特定事業者) ☐ (3)特定事業者以外の事業者
------------	---

2 事業の概要

事業者の業種	旅館・ホテル (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：7511)
事業概要	ホテル・飲食業・宴会

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項 目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和元～令和3年度 (平均値)	令和4～令和6年度 (平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4～令和6年度 (平均値)
温室効果ガス 実排出量(*5)	7,678 t-CO ₂	7,601 t-CO ₂	7,293 t-CO ₂	7,630 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	5.0 %	0.6 %	%	%
温室効果ガス みなし排出量(*6)		7,601 t-CO ₂	7,293 t-CO ₂	7,630 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	5.0 %	0.6 %	%	%
実績に対する 自己評価	前年度に比べ、宿泊・食堂・宴会の利用者数が大幅に増加した為、エネルギーの使用量が増加したことにより、温室効果ガスの排出量が増加したもの。					

*1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制割合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。

*2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。

*3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。

*4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄)の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。

*5 温室効果ガス実排出量とは、上記(*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。

*6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標の達成状況 (※任意記載)

(※原単位の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$)

事業分類	基準年度の 実績 a	計画期間の 目標 b	計画期間の実績 b			
	令和元～令和3年度 (平均値)	令和4～令和6年度 (平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4～令和6年度 (平均値)
旅館・ホテル	61.45	60.83	70.5	66.9		
		1.0 %	-14.7 %	-8.9 %	%	%
		%	%	%	%	%
		%	%	%	%	%
原単位の指標及び 実績に対する 自己評価	前年度に比べ、宿泊・食堂・宴会の利用者数が大幅に増加した為、エネルギーの使用 量が増加したことにより、原単位の数値が増加したものの。					

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

・館内の巡回、不要箇所の消灯実施。 ・空調機器の設定温度や運転時間を、調整して無駄な運転による光熱費の削減。 ・3階東側ロビーの間接照明60台を、LED器具に交換。 ・1階6階ホテル出入口周囲の照明を、LEDテープ球に交換(161個) ・B1階～26階のバック通路の照明を、LED型蛍光灯に交換(94本)
--

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値(*8)の活用等)

特になし

4 その他の取組の実施状況

・毎月の動光費を分析、前年度の使用量と比較して増減の要因を調べ、速やかに対処を実施。 ・機器の定期点検等で、不備箇所が見つかった場合は、直ちに処置を実施。

*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。

*8 環境価値とは、オフセットクレジット制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	株式会社 リーガロイヤルホテル広島
事業所の所在地	広島県広島市中区基町6番78号
事業所の業種	旅館・ホテル
事業の概要	ホテル・料飲業・宴会

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項 目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和元～令和3年度 (平均値)	令和4～令和6年度 (平均値)	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和4～令和6年度 (平均値)
温室効果ガス 実排出量(*4)	7,678 t-CO ₂	7,601 t-CO ₂	7,293 t-CO ₂	7,630 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	5.0 %	0.6 %	%	%
温室効果ガス みなし排出量(*5)		7,601 t-CO ₂	7,293 t-CO ₂	7,630 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		1.0 %	5.0 %	0.6 %	%	%
実績に対する 自己評価	前年度に比べ、宿泊・食堂・宴会の利用者数が大幅に増加した為、エネルギーの使用量が増加したことにより、温室効果ガスの排出量が増加したもの。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

・館内の巡回、不要箇所の消灯実施。 ・空調機器の設定温度や運転時間を、調整して無駄な運転による光熱費を削減。 ・3階東側ロビーの間接照明60台を、LED器具に交換。 ・1階6階ホテル出入口周囲の照明を、LEDデープ球に交換(161個) ・B1階～26階 までのバック通路の照明を、LED型蛍光灯に交換(94本)

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

特になし

2 その他の取組の実施状況

・各部署ごとに、毎月のエネルギー使用量を分析、前年度に比べて増加した部署については、要因を調査して、設備等の不備事項があれば、直ちに処置を実施する。
--